

令和7年度 自 己 評 価 表

鳥取県立米子南高等学校

中長期目標 (学校ビジョン)	大胆な挑戦	1 意欲を育てる	今年度の 重点目標	1 基礎学力の向上	2 基本的生活習慣の確立
		2 成長を支える		3 的確な情報発信	4 キャリア教育の充実
		3 変化を求める		5 地域社会への貢献	6 業務改善の取組

年 度 当 初					評 価 結 果 (2)月		
評価項目	評価の具体項目	現状	目標(年度末の目指す姿)	目標達成のための方策	経過・達成状況	評価	改善方策
1 基礎学力の向上	家庭学習を充実させ、基礎学力を定着させる。	・1時間以上家庭学習をする生徒の割合：26.6% ・検定対策、成績下位層に対する指導、課題提出の取組は一定の効果があった。	1 1時間の家庭学習をする生徒の割合：30%以上 2 教科間の連携により地域貢献に繋がる汎用性のある学力を着けさせる。 3 課題研究(3年次)では、「探究的な学習の視点」を持って取り組む。	1・各教科・学年との連携 ・多様な入試形態を意識した学力保証 2 進学・就職意識の高揚 3 課題解決型学習を取り入れた教科横断的な授業実践			
	一般教養を習得させ、社会人としての必要な力を身に付けさせる。	・ICT活用の充実(職員の78.9%が「ICTを活用した授業を実施」と回答)。 ・授業理解への肯定的評価：84.8% ・朝読書(朝テスト含む)で知識が身についたと感じている生徒の割合：76.7%	4 全ての教員のICTを活用した授業実践。 5 授業理解への肯定的評価」の割合及び朝読書で知識が身についたと考える生徒の割合：85%以上	4・積極的にChromebook・ICTを活用した授業実践 5 朝読書の時間を確保し、本の準備を徹底			
2 基本的生活習慣の確立	知・徳・体のバランスが良い生徒を育成する。	・基本的生活習慣が確立しているとする割合：生徒87.8%、保護者：85.6% ・保健室来室者の状況等を鑑み、必要に応じた保健指導の実施、基本的生活習慣の定着を図った。	1 基本的生活習慣が確立していると考ええる生徒及び保護者の割合：両者とも90%以上 2 支援を必要とする生徒への理解に努め、職員間で情報を共有する。	1 校内組織・関係機関との連携、安心できる学校生活の保障 2 ハイパーQUやコミュニケーショントレーニングを活用した効果的な指導			
	社会生活におけるルール・マナー・モラル等を遵守する習慣や規範意識を習得させる。	・登下校時、ネクタイ未着用の生徒が散見される。 ・日常的に挨拶ができない生徒がみられる。	3 全学年が新制服となり90%以上の生徒がきちんとした着こなしをしている。 4 継続的に分離礼の取組や挨拶の励行を教職員より行う。	3・継続的した声かけ ・服装・生活面について全職員で連携した指導の徹底 4 礼儀・作法について意識させる指導の徹底			

令和7年度 自 己 評 価 表

鳥取県立米子南高等学校

中長期目標 (学校ビジョン)	大胆な挑戦	1 意欲を育てる 2 成長を支える 3 変化を求める	今年度の 重点目標	1 基礎学力の向上 3 的確な情報発信 5 地域社会への貢献	2 基本的生活習慣の確立 4 キャリア教育の充実 6 業務改善の取組
-------------------	-------	----------------------------------	--------------	--------------------------------------	--

年 度 当 初					評 価 結 果 (2)月		
評価項目	評価の具体項目	現状	目標(年度末の目指す姿)	目標達成のための方策	経過・達成状況	評価	改善方策
3 的確な情報発信	メディアを利用して教育活動の内容を分かりやすく発信する。	・行事や授業の様子等をホームページに迅速に掲載。新たにInstagramによる情報発信に務めている。 ・みつばち学習発表会では、各科の取組や国際交流等の発表を行うことができた。	1 ホームページやSNSをさらに見やすく充実したものへ。	1 ・地域に興味関心を抱かせる情報公開の仕方を模索 ・中学生向けの情報更新、ポータルサイトでの職員・生徒への周知			
	特色ある専門高校としての人財育成に取り組む姿を発信する。		2 みつばち学習発表会の内容が深まり開かれたものになっている。	2 ・ホームページ、Instagram等での地域への周知 ・興味関心・社会的ニーズを考慮した課題設定 ・仮説立て・実践・評価・改善のサイクルを確立			
4 キャリア教育の充実	職業観・勤労観の育成を図り、進路の実現を目指す。	・幅広い視野で進路検討ができるようにするため、学年全体で大学等見学、企業見学及び対話型の企業人との座談会をするなどの充実を図った。 ・放課後に、生徒保護者を対象とした大学説明会の開催や、本校に適した進学情報に務めている。	1 生徒の職業観・勤労観が高まり、明確な進路意識を持つ。 2 大学進学を目指す生徒がより高い意識を持って受験に挑戦している。	1 ・学年を通しての体系的な進路行事とその計画 ・自分らしく生きるための進路選択を可能にする指導法の確立 2 多様化する入試形態に対応できる進路指導の模索			
	専門的な学習の取組を深め、より高度な専門資格を取得させる。	・専門的な学習を深められたと考える生徒の割合：95.6%。 資格取得に向けて放課後講習を継続的にしている(商業学科、家庭学科 調理コース、英語科等)	3 専門的な学習を深めることができた と考える生徒の割合：100%に近づける。	3 ・資格・検定取得意欲高揚を促し、専門的な学習への興味関心を掲揚 ・単元テスト・課題で学習意欲を育み、より高度な資格取得を促す			

令和7年度 自 己 評 価 表

鳥取県立米子南高等学校

中長期目標 (学校ビジョン)	大胆な挑戦	1 意欲を育てる 2 成長を支える 3 変化を求める	今年度の 重点目標	1 基礎学力の向上 3 的確な情報発信 5 地域社会への貢献	2 基本的生活習慣の確立 4 キャリア教育の充実 6 業務改善の取組
-------------------	-------	----------------------------------	--------------	--------------------------------------	--

年 度 当 初					評 価 結 果 (2)月		
評価項目	評価の具体項目	現状	目標(年度末の目指す姿)	目標達成のための方策	経過・達成状況	評価	改善方策
5 地域社会への 貢献	地域活力の導入や地域活性化の推進を行う。	・課題研究において、地域連携や地域貢献に取り組んだグループが多く見られた。	1 生徒が探究心を持って主体的に課題研究に取り組んでいる。	1・生徒が主体的に課題に取り組む仕掛け作り ・講師招聘で教員研修を充実 ・探究活動を教員が深く学ぶ ・地域と連携した研究の促進			
	学校や地域で主体的に行動でき、地域社会の発展を進める人財を育成する。	・eスポーツ活動(R6は26回の外部との連携)、家庭クラブによる各種イベントへの参加を行っている。 ・社会貢献を推進しようとしている生徒の割合：86.1%	2 販売実習等で生徒が校外の方と関わり、地域貢献を通じて地域から応援が得られる学校になる。 3 社会貢献を推進しようとしている生徒の割合：85%以上	2・世のニーズを意識した課題研究の構築 ・ボランティア活動・販売実習を通じた地域貢献活動の充実 3・外部機関活動に参画する生徒の育成 ・eスポーツ活動で地域との関わり、生徒の活動機会を広げる			
6 業務改善の取組	ワークライフバランスを保つことを推進する。	・時間外業務が年間360時間を超える職員の割合：5% (R5年度と同程度) ・一部教員に長時間勤務が偏る傾向がある。	1 各個人の時間外業務が月30時間以内(最大45時間)以内、年360時間以内	1・時間外業務過多の職員の減少に向けて声掛け ・業務の見直しを意識した学校経営			
	長時間勤務を解消する。		2 「部活動に係る活動方針」に沿った部活動が行われている。	2 部活動実施状況を把握し、適切に呼びかけを行う			

評価基準 A: 十分達成 B: 概ね達成 C: 変化の兆し D: まだ不十分 E: 目標・方策の見直し
[100%] [80%程度] [60%程度] [40%程度] [30%以下]